

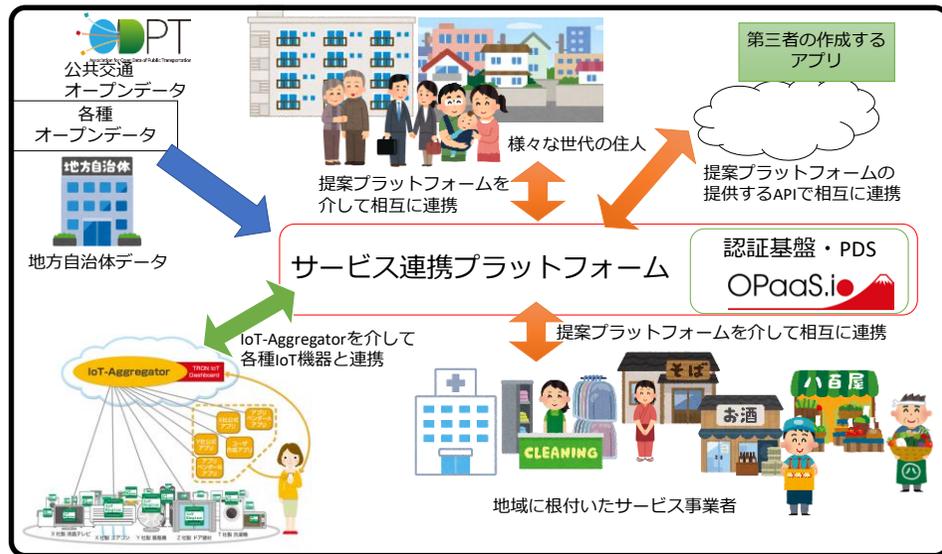
1. 研究課題・受託者・研究開発期間・研究開発予算

- ◆研究開発課題名 データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発 (第3回)
- ◆副題 未来型住宅団地におけるサービス連携プラットフォーム
- ◆受託者 学校法人東洋大学、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク
- ◆研究開発期間 令和2年度～令和4年度 (3年間)
- ◆研究開発予算 (契約額) 令和2年度から令和4年度までの総額30百万円 (令和3年度10百万円)

2. 研究開発の目標

住民同士、地域商店街、自治体との連携、ネットワークを介した勤務先との連携、IoT機器との連携、街の情報との連携、といった、住民を取り巻く多様な人、街、施設、機関、自治体等の様々なプレイヤーが提供するサービスを、オンライン、実世界問わず連携するためのプラットフォームを実現する。

3. 研究開発の成果



- 実サービスとIoT機器のプロファイル記述を検討
- Open API仕様に基づくツールに基づいて、プロファイリングのオーサリングツールを検討・設計
- 宅配クリーニングサービス・フードデリバリーサービスについて、機器との連携シナリオの検討を行い、機器を選定

研究開発項目3: 実サービスとIoT機器とを組み合わせた連携実証

研究開発項目1: サービス連携プラットフォームを活用したサービス連携実証

- 昨年度に検討した宅配サービスとクリーニングサービスに加えて、**飲食店のテイクアウト予約サービス**を具体例としてプロファイル記述を精査
- 3例のプロファイル記述を通して、策定したプロファイルが実サービスのプロファイル記述に十分であることを確認
- 昨年度にプロファイル記述を検討した宅配サービスとクリーニングサービスの連携に基づく**実証アプリケーション**を検討
- 地域のサービス事業者や実験フィールドについて、研究実施協力者であるOpen Smart UR研究会を通して、**各企業との連携**を実施

- 昨年度に検討した照明、空調、電気錠、電動ブラインドに加えて、**宅配ロッカーの5例**でプロファイル記述を実施
- プロファイル記述による標準APIに基づく機器のアクセス機能を提供できることを確認
- IoT機器連携実証のための予備実験フィールド(右写真)を整備するとともに、IoTスイッチと照明・空調・電動ブラインドの連動と、ジェスチャーによる情報案内に関する**連携シナリオ**を検討



研究開発項目2: IoT-Aggregatorを活用したIoT機器連携実証

4. 特許出願、論文発表等、及びトピックス

国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	標準化提案・採択	プレスリリース 報道	展示会	受賞・表彰
0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)

※ 成果数は累計件数、()内は当該年度の件数です。

(1) 国際シンポジウム TRON Symposium 2021にて本研究開発の内容を紹介

開催日時・場所: 2021年12月9日、東京ミッドタウン(オンライン併設)

開催概要:

組み込みシステムやIoTに関する国際的な技術団体であるトロンフォーラムが主催するTRON Symposium 2021にてセッションを実施し、関係者および来場者との意見交換を行った。

今年は、本研究開発の研究協力者であるOpen Smart UR研究会の関係者とセッションを設け、本研究開発の内進捗状況を紹介するとともに、近未来の住宅のありかたについて議論を行った。また、TRON Symposium 2021の会場内に、本研究開発の内容を紹介するパネルを設置した。



5. 今後の研究開発計画

実験住宅が完成して活用できる夏以降を想定して、Open Smart UR研究会や地元商店街等の関連事業者とのサービス連携に関する実証実験を実施する。特に、地元自治体等と協力して自分たちでICT環境をうまく活用できていない事業者への普及展開に向けた検討を進める。実証においては、あらかじめ体験居住する方の同意を得た上で、居住時のIoT機器の利用ログを活用し、サービス利用、照明・空調等のシーン切り替えのレコメンドに関する実現性も検討する。